

平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL https://www.mac-house.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	20,800	△9.8	△313	—	△258	—	△1,790	—
30年2月期第3四半期	23,071	△8.9	175	△49.8	221	△47.1	△79	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	△116.75	—
30年2月期第3四半期	△5.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	21,065	11,455	54.1
30年2月期	22,291	13,536	60.5

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 11,402百万円 30年2月期 13,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
31年2月期	—	0.00	—		
31年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△9.2	△740	—	△690	—	△2,300	—	△149.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年2月期3Q	15,597,638株	30年2月期	15,597,638株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年2月期3Q	260,834株	30年2月期	260,793株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年2月期3Q	15,336,822株	30年2月期3Q	15,336,918株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成30年3月1日～平成30年11月30日)における我が国の経済は、企業収益の改善、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続きました。

一方で中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、低価格化による競争激化に加え、生活必需品の値上げ等に伴う衣料品に対する消費者の節約志向は依然として高く、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況におきまして、当社は、「お客様の暮らしに役立つお店」をスローガンにジーンズカジュアルショップからジーンズを中心としたファミリーカジュアルショップへの脱皮を図ってまいりました。具体的には、競合他社に負けない高品質・低価格のPB(プライベートブランド)ジーンズの販売、多くのお客様にご利用いただけるように低価格雑貨の充実、インナーレグウェアやホームウェアなどの低価格実需衣料の強化、当社独自のロゴやキャラクター商品販売による他社との差別化などに取り組んでまいりました。更に、当第3四半期より、NB(ナショナルブランド)商品の取扱いを増やすとともに、新商品を次々と発売し、来店動機となる品揃え、魅力的な売場づくりに努めてまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は、新聞広告による販促効果の低下や記録的な天候不順による客数の減少、一品単価の下落に加え、一人当たり買い上げ点数の下落により客単価が低下し、既存店売上高前年同四半期比10.3%減、既存店客数6.1%減、既存店客単価4.5%減となりました。

出退店におきましては、一店舗当たり売上高増加のために「マックハウス スーパーストア」及び「マックハウス スーパーストアフューチャー」を中心に新規に17店舗を出店し店舗の大型化を推進するとともに、路面の中小型店舗を中心に不採算の12店舗を閉鎖しました。その結果、当第3四半期末の店舗数は、415店舗(前年同四半期比2店舗増)となりました。

利益面につきましては、商品調達改革が進んでいるものの、天候要因により季節商品の立ち上がりが遅れ、値引き販売を当初計画以上に実施した結果、売上総利益率は前年同四半期比においてほぼ横ばいに留まりました。また、減収の影響により、売上総利益額は前年を大幅に下回りました。

経費面におきましては、広告宣伝費等の販売費及び水道光熱費、物流費を中心とした管理費の大幅な削減を図りました。

特別損失につきましては、路面及び中小型のNSC(ネイバーフッドショッピングセンター)に出店している店舗を中心とした収益性の低下がみられた店舗の減損損失、退店に伴う固定資産除却損等、当第3四半期累計期間において、合計753百万円を計上しております。

また、当第3四半期累計期間において、全ての繰延税金資産の取崩しにより法人税調整額652百万円を計上しました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は20,800百万円(前年同四半期比9.8%減)となりました。また、営業損失は313百万円(前年同四半期は営業利益175百万円)、経常損失は258百万円(前年同四半期は経常利益221百万円)、四半期純損失は1,790百万円(前年同四半期は四半期純損失79百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,225百万円減少し、21,065百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ148百万円減少し、15,415百万円となりました。これは主に、売掛金が746百万円増加した一方で、現金及び預金が709百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1,076百万円減少し、5,650百万円となりました。これは主に建物付属設備(純額)が376百万円、繰延税金資産が429百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ855百万円増加し、9,610百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ737百万円増加し、6,765百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が933百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ117百万円増加し、2,844百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ2,081百万円減少し、11,455百万円となりました。

これは主に、四半期純損失を1,790百万円計上し、剰余金の配当306百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は54.1%となり前事業年度末に比べ6.4ポイント減となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成30年10月9日付「特別損失(減損損失)の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成31年1月11日に公表いたしました「特別損失(減損損失)の計上、繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正並びに平成31年2月期の配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,457	4,747
売掛金	387	1,133
商品	8,975	9,135
前払費用	285	281
繰延税金資産	150	—
その他	307	117
流動資産合計	15,564	15,415
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	97	91
建物附属設備(純額)	1,495	1,119
構築物(純額)	16	12
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	215	133
リース資産(純額)	266	213
土地	194	194
その他	0	3
有形固定資産合計	2,287	1,767
無形固定資産	181	176
投資その他の資産		
長期前払費用	155	117
敷金及び保証金	3,672	3,579
繰延税金資産	429	—
その他	6	12
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	4,258	3,705
固定資産合計	6,727	5,650
資産合計	22,291	21,065

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,850	3,783
電子記録債務	1,291	1,147
ファクタリング債務	270	165
未払金	273	212
未払法人税等	167	64
未払費用	639	995
賞与引当金	80	16
ポイント引当金	64	55
店舗閉鎖損失引当金	41	111
資産除去債務	9	58
その他	337	153
流動負債合計	6,027	6,765
固定負債		
退職給付引当金	1,517	1,584
転貸損失引当金	115	102
長期預り保証金	182	178
資産除去債務	688	737
繰延税金負債	—	75
その他	223	167
固定負債合計	2,727	2,844
負債合計	8,754	9,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	6,735	4,638
自己株式	△153	△153
株主資本合計	13,499	11,402
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△6	0
評価・換算差額等合計	△6	0
新株予約権	43	52
純資産合計	13,536	11,455
負債純資産合計	22,291	21,065

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	23,071	20,800
売上原価	10,998	9,947
売上総利益	12,072	10,853
販売費及び一般管理費	11,897	11,167
営業利益又は営業損失(△)	175	△313
営業外収益		
受取利息	5	4
受取家賃	245	237
その他	35	63
営業外収益合計	286	305
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	208	206
その他	31	41
営業外費用合計	240	249
経常利益又は経常損失(△)	221	△258
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産除却損	16	9
店舗閉鎖損失	6	—
減損損失	100	662
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	81
特別損失合計	123	753
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	100	△1,011
法人税、住民税及び事業税	125	126
法人税等調整額	54	652
法人税等合計	180	778
四半期純損失(△)	△79	△1,790

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第3四半期累計期間 自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日	当第3四半期累計期間 自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	5,898百万円	5,559百万円	94.3%	△338百万円
メンズボトムス	4,602百万円	3,999百万円	86.9%	△602百万円
レディーストップス	2,707百万円	2,516百万円	92.9%	△190百万円
レディースボトムス	2,752百万円	2,323百万円	84.4%	△428百万円
キッズ	2,747百万円	2,492百万円	90.7%	△254百万円
その他	4,363百万円	3,908百万円	89.6%	△454百万円
合計	23,071百万円	20,800百万円	90.2%	△2,270百万円

(注) 「その他」はビジカジ、インナー・レッグ、雑貨等であります。